



放送大学栃木学習センター

とちの実

Tochinomi

2025

7

月号

No. 137



目次

巻頭言	p.2
2025年度第1学期単位認定試験	p.3~4
次学期の準備	p.5~6
公開講演会のご案内	p.6
特別ゼミのご案内/図書だより	p.7~9
2025年度学生研修旅行のご案内 /閉所日の変更のお知らせ(予告)	p.10

2024年度修士論文・卒業研究発表会のご報告 /教務だより	p.11
2024年度第2学期 卒業生からのメッセージ	p.12~14
所長とランチのご報告	p.14
キャンパスカレンダー	p.15
学習相談日	p.16

巻頭言

「青春」の詩

放送大学栃木学習センター所長 加藤 謙一



この3月に定年を迎え、1つのキャリアを終えました。今までの生活から一転して新しい環境となり、若干の戸惑いを覚えます。これまで4月になるたびに何かに挑戦しようとする気持ちが湧いてきましたが、今年も戸惑いを感じてはいるものの、特別な意欲が芽生えています。人生100年時代という考え方が広まっていることもあってか、もう一度、新社会人になったような気分でもあります。

学生時代に会った詩で、今でも折に触れて読み返してきたものがあります。この詩にふれると心がりセットされ、清々しい希望と勇気が湧いてくるような気持ちになります。新しい生活をスタートさせるにあたり、今一度、読みなおしてみたいと思います。

青春

青春とは人生のある期間ではなく、
心の持ちかたをいう。
薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足でなく、
たくましい意志、ゆたかな想像力、もえる情熱をさす。
青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病さを退ける勇氣、
安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。
ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。
年を重ねただけで人は老いない。
理想を失うとき、はじめて老いる。

歲月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心はしぼむ。
苦悩、恐怖、失望により気力は地に這い精神は芥になる。

60歳であろうと16歳であろうと人の胸には、
驚異に魅かれる心、おさな児のような未知への探求心、
人生への興味の歓喜がある。
君にも吾にも見えざる駆遣が心にある。
人から神から美、希望、喜び、勇氣、力の
靈感を受ける限り君は若い。

靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、
悲嘆の氷に閉ざされるとき、
20歳であろうと人は老いる。
頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、
80歳であろうと人は青春にして已む。

ユダヤ人であるこの詩の作者サムエル・ウルマン氏は、ユダヤ人移民の差別や事業での失敗、戦争で半ば聴力を失い、さらには最愛の妻にも先立たれるという人生において多くの苦悩を経験しています。普通であれば、孤独や失意のうちに送られる生涯を、弱者に限りない愛を注ぎ、社会奉仕に献身し、この詩のように情熱年齢を維持・継続した人生を送られました。私が最も心に響いた言葉は「年を重ねただけで人生は老いない。理想を失うときに、はじめて老いる」です。この詩から、ウルマン氏の心の若さと逞しい生への意欲を強く感じました。

放送大学には様々な背景を持ち、幅広い年齢層の学生さんが在籍しています。この詩のように、「理想を追う情熱」を持つ多くの方々がいらっしゃるのだらうと思います。私も皆さんに負けないように志新たに学んでいきたいと思っています。

出典 M・E・アームブレスター：作山宗久訳（1993）サムエル・ウルマンの生涯とその遺産、産能大学出版部、pp220-221.
引用転載許可

2025年度第1学期単位認定試験

実施方法(Web受験・郵送受験)および出題形式(択一式・記述式・併用式)によって試験期間が異なります。
各科目の試験期間をよく確認してください。

通信指導の合否結果

通信指導の合否結果は、6月下旬(予定)に大学本部より送付される「単位認定試験通知(受験票)」を確認してください。

※択一式科目:7月3日(木) 記述式科目:7月9日(水)になっても到着しない場合は、大学本部学生サポートセンター(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。

試験期間

実施方法	出題形式	試験期間(郵送試験は提出期間)
Web受験	択一式科目	2025年7月16日(水)9:00~7月24日(木)17:00
	記述式・併用式科目	2025年7月16日(水)9:00~7月20日(日)17:00
郵送受験	すべての出題形式	2025年7月16日(水)~7月20日(日)《必着》

実施方法(Web受験)

- ・ インターネットを通じ「Web単位認定試験システム」にアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- ・ 試験期間中は自宅等からいつでも受験できます。
- ・ 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、各科目1回のみ受験可能)
- ・ 出題形式には「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」があり、各科目の出題形式は「2025年度第1学期授業科目案内」(p.37~p.147)に掲載しています。

郵送受験科目について

- ・ 郵送受験科目について…次の4科目のみ郵送試験を行います。
「行政学講説('24)」(記述式) 「正多面体と素数('21)」(記述式)
「日本美術史の近代とその外部('18)」(記述式) 「量子化学('19)」(併用式)
- ・ 7月上旬ごろに大学本部から送付される問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、試験期間内に郵送で解答を提出します。(試験時間の制限なし)

試験の結果

試験結果は、8月下旬に大学本部より送付される「成績通知書」またはシステムWAKABA「教務情報→履修成績照会」で確認することができます。

※「成績通知書」の到着を待っていると科目登録に間に合わない可能性があるため、システムWAKABAでの確認をおすすめしています。

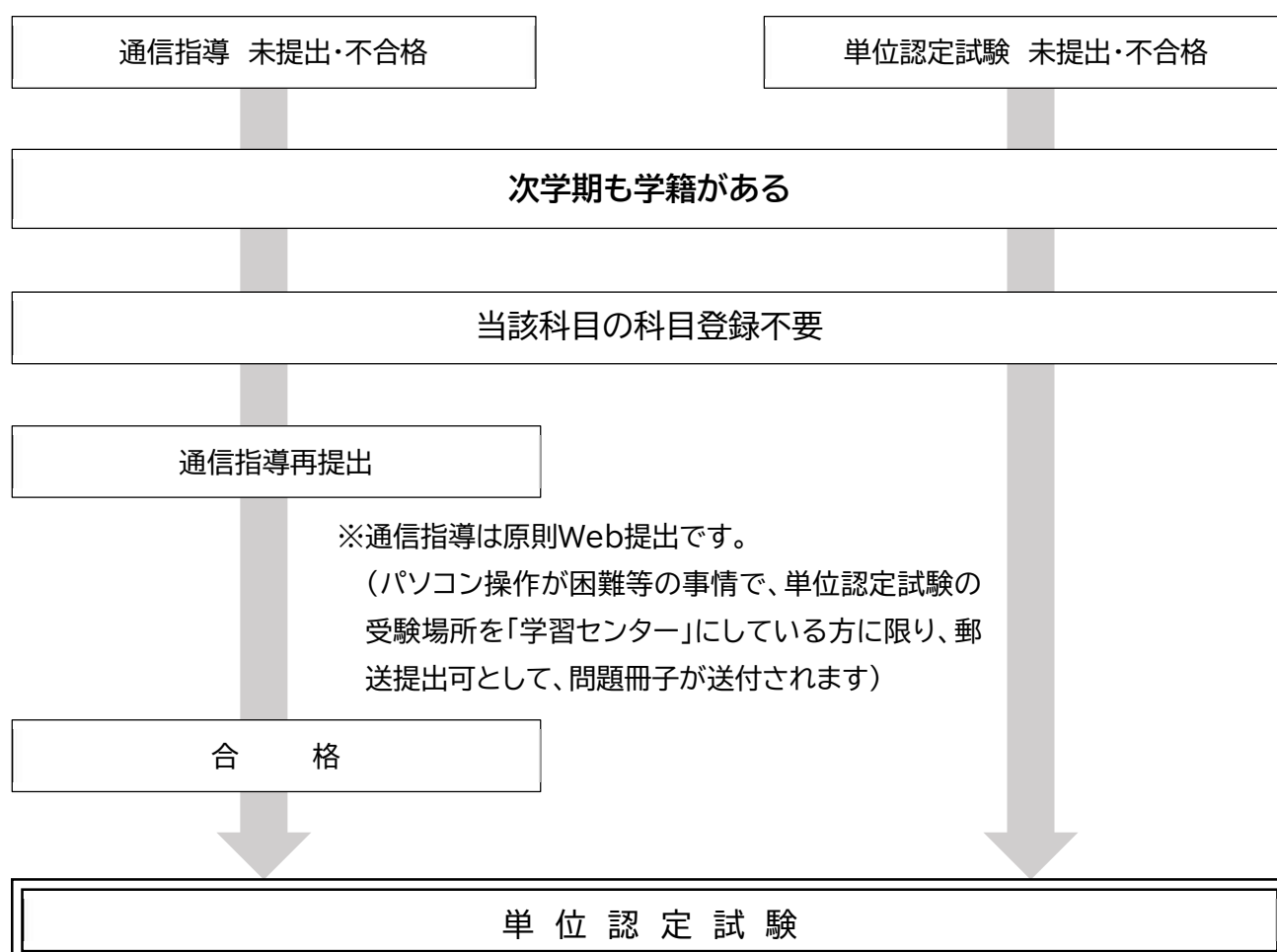
再試験について

2025年度第1学期に新規登録した科目のうち単位修得できなかった科目は、2025年度第2学期に学籍がある場合に限り(休学中を除く)、科目登録をしなくても再試験を受験することができます(再試験に係る授業料などはかかりません)。

※2025年度第1学期で在学期間が終了する方は、再試験を受験するには継続入学の手続きが必要です。

※オンライン授業科目は、通信指導および単位認定試験を行わないため、再試験はありません(一部科目を除く)。単位を修得できなかった場合、再度科目登録が必要です。

詳しくは「学生生活の葉」(教養学部p.78～、大学院p.83～)を参照してください。



次学期の準備(科目登録・継続入学)

次学期も学籍がある方は「科目登録申請」

- システムWAKABAによる申請 8月15日(金)9:00～8月29日(金)24:00
「教務情報→科目登録申請」から申請してください。
- 郵送による申請 8月15日(金)～8月28日(木)私書箱必着
7月中旬に大学本部から送付される「科目登録申請要項」に同封の「科目登録申請票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

2025年度第2学期に再試験となる科目は、登録できません(自動的に登録されます)。

※教養学部生で面接授業を登録したい方は、併せて申請を行ってください。

※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等の関係資料が到着しない、あるいは紛失した場合は、大学本部学生サポートセンター(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。

今学期で卒業もしくは在学期間満了で学籍が切れ、引き続き在籍を希望する方は「継続入学」

出願方法・出願期間

- システムWAKABAによる申請 【第1回】6月10日(火)9:00～8月29日(金)24:00
【第2回】8月30日(土)0:00～9月11日(木)17:00
「教務情報→継続入学申請」から申請してください。
- 郵送による出願 【第1回】6月10日(火)～8月29日(金)必着
【第2回】8月30日(土)～9月11日(木)必着
資料請求または学習センターに来所し「学生募集要項」を入手して、同封の「出願票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

出願時の科目登録で、面接授業・ライブWeb授業を登録したい方への注意事項

- システムWAKABAによる申請のみ 8月15日(金)9:00～8月29日(金)24:00
- ※必ず、上記期間内にシステムWAKABA内、「教務情報→継続入学申請」から申請してください。
上記期間外または郵送出願の場合は、面接授業の科目登録はできません。
- ※面接授業・ライブWeb授業の登録のみでは入学できません。放送授業またはオンライン授業から1科目以上登録が必要です。

卒業が見込まれる全科履修生

8月下旬に大学本部より送付される「成績通知書」またはシステムWAKABA「教務情報→履修成績照会」で卒業となるかを確認のうえ、必要な手続きをしてください。
詳しくは「学生生活の葉」p.95～を参照してください。

卒業となる方・・・継続して入学を希望する場合は「**継続入学**」

卒業とならない方・・・次学期も学籍がある場合は「**科目登録申請**」

次学期に学籍がなく、引き続き在籍を希望する場合は「**継続入学**」

公開講演会のご案内

「環境問題から考える戦争と平和」

【日 時】2025年9月20日(土)14:00～

【講 師】茨城大学人文社会科学部教授

蓮井 誠一郎 氏



ご専門は環境安全保障、国際政治学で、昨今問題となっている気候危機、エネルギー問題と戦争・平和の関係についてお話いただく予定です。また、放送大学茨城学習センターの面接授業を担当されたご経験もお持ちです。

【参加方法】会場(対面)

【申込方法】以下URLまたは2次元バーコードから申し込みフォームに入り、必要事項を入力のうえ、送信ボタンを押してください。
追って、参加方法等をメールでご連絡いたします。



URL: <https://forms.gle/Dgbgdgo61P8t5zd77>

コンピュータでのお申し込みが不安な方は、栃木学習センターまでお電話ください。

特別ゼミのご案内

【対象者】栃木学習センターに所属する学生(学生種は不問。ただし休学者は除く。)

【注意事項】全ゼミ先着順です。

受講料は無料ですが、材料費など実費がかかる場合があります。

正規の単位としては認められません。

【申込方法】栃木学習センター事務室窓口・電話・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。

FAXの場合は氏名・学生番号・希望のゼミ名・ご連絡先を明記してください。

【申込期間】7月4日(金)9:00～各ゼミ開講1週間前まで

① 香りの化学

講師:二瓶 賢一(にへい けんいち) [専門分野/天然物有機化学]

たべもの、くだもの、のみもの。私たちの身の回りには、香りを感じるものがたくさんあります。このゼミでは、分子模型を用いて、さまざまな香りの化学的な構造を組み立てる演習を行います。また、それらの香りはどのようなものか、どのような効果があるのか、どうやって化学的に作られているのかなどについて、解説を行います。天然有機化合物の香りを嗅ぎますので、香りに弱い方はご注意ください。

日	時	1日目8月23日(土) 2日目8月24日(日) 共に9:30~12:30 ※原則、両日参加	定 員	10名
会 場	演習室Ⅱ			
持 ち 物	ノート、筆記用具			

②人間の一生と〈性〉を考える

講師:良 香織(うしとら かおり) [専門分野/教育学・保健学]

就学前の子どもから大人まで〈性〉の健康が保障されることは基本的人権です。性教育や人権教育はこれを保障するための重要な権利です。人権を基軸にした〈性〉を学ぶとはどういうことなのか、国内外の絵本や教材等から読み解いていきます。

日	時	1日目8月23日(土) 2日目8月30日(土) 共に13:30~16:30 ※原則、両日参加	定 員	15名
会 場	演習室Ⅱ			
持 ち 物	筆記用具、はさみ			

③市民が伝える戦争の記憶と体験

講師:清水 奈名子(しみず ななこ) [専門分野/国際関係論]

戦争と平和の問題について研究する国際関係論や国際法学では、外交官や政治家、軍人たちが残した外交文書などの資料をもとに、研究が行われてきました。その一方で、これらの指導者たちが決定して開始される戦争の現場において市民たちがどのような経験をしてきたのか、また市民が戦争によってどのような影響を受けたのかについては、平和研究や歴史学、戦争社会学などの分野で研究が行われてきました。この特別ゼミでは、文学作品や映像資料などを使いながら、市民の目からみた戦争の経験について学んでいきます。

日	時	8月31日(日)9:30~16:30	定	員	10名
会	場	演習室Ⅱ			
持	ち	ノート、筆記用具			

④パソコンOSの裏側をしてみる

講師:横田 隆史(よこた たかし) [専門分野/計算機工学]

パソコンではWindowsなどのOS(オペレーティングシステム)が動いていて、我々がパソコンを操作する際に様々なサポートをしてくれています。昨今のパソコンは性能が良いですしOSの使い勝手も改善されているので、普段OSの存在を意識することは少なくなりました。しかし、OSの働きがどこに・どのような形で現れるか知っておくと、より深く理解できると思います。

本特別ゼミでは、入出力やメモリの管理などの機能をとりあげ、OSの働きを説明したのち、可能な範囲で設定・確認の方法を試してみます。受講にあたってはWindowsパソコン持参が望ましいですが、なくても大丈夫です。

日	時	9月13日(土)13:30~16:30	定	員	20名
会	場	演習室Ⅰ			
持	ち	Windowsパソコン(なくても可)			

⑤日本語の文法について考える

講師:佐々木 一隆(ささき かずたか) [専門分野/英語学, 言語学]

日本語の言語的特徴とは何でしょうか。日本語を他言語と比較した場合、日本語の文法的特徴をどう説明しますか。日本語を母語としない日本語学習者から同様の質問を受けた時には、どう答えますか。本ゼミでは、これらの問いについて、用例や文献を参照しながら意見交換し、日本語文法とは何かを探ります。具体的には、日英語の音声、文字と語彙、文法を比較し、外国人にとっての日本語学習上の壁についても考えます。

日	時	9月20日(土)9:30~12:30	定	員	10名
会	場	演習室Ⅱ			
持	ち	日本語と英語の辞書(冊子体と電子版のどちらでも可)			

⑥特別支援教育と共生社会－教育的係わり合いからの検討－

講師:岡澤 慎一(おかざわ しんいち) [専門分野/特別支援教育]

ある人において、あるとき、“とまどい”や“つまづき”、“とどこおり”が起こることを“障害”にとらえれば、教育的係わり合いのなかでは、厳しい条件を抱える方のみならず、係わり手もまた障害状況に直面します。こうした障害状況から立ち直るための方略を考え、工夫し、実践することが、教育においては筆者が学生に願うことであり、そうした取り組みから得られた見識を蓄積することが筆者の研究の目指すところでもあります。ここでは、種々の文献や障害のある人との教育的係わり合いの実際に基づきながら、これからの特別支援教育の在り方や共生社会の実相について検討します。なお、本ゼミの趣旨は変わりませんが、取り上げる事例は毎回変わる予定です。

日 時	9月21日(日)9:30~16:30	定 員	10名
会 場	宇都宮大学峰キャンパス8号館B棟4階 特別支援教育第1演習室		
持 ち 物	特になし		
備 考	会場には全員で移動しますので、栃木学習センターに9:15までにお越しください。		

⑦切削加工のメカニズム

講師:佐藤 隆之介(さとう りゅうのすけ) [専門分野/機械工学, 生産工学・加工学]

切削加工は切削用工具と被削材を相対的に移動させることにより素材の一部を切りくずとして取り出す工程であり、除去加工の中ではエネルギー効率と生産性、経済性に優れる加工法である。本ゼミでは切削加工のメカニズムを理解することを目的として座学および金属の二次元切削実験を行い、切削特性値に及ぼす切削条件の影響について学ぶ。

日 時	9月27日(土)9:30~16:30	定 員	8名
会 場	宇都宮大学陽東キャンパス7号館102 生産加工システム研究室(2)		
備 考	「学生教育研究災害傷害保険」加入必須。未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センター窓口で手続きをしてください。汚れてもよい服装で参加すること。		

図書だより

「学生図書リクエスト」受付

「学生図書リクエスト」とは、皆さまから学習用の図書の希望を受けし、本部で選定し、購入する制度です。

【受付期間】 2025年12月25日(木)まで(予算の都合により締切を早める場合があります。)

【対象者】 学部全科履修生・選科履修生、大学院修士全科生・修士選科生・博士全科生

※現在、休学中である、または延滞や不正利用があった場合は申込できません。

(一人につき月1点まで)

【対象図書】 図書館未所蔵のもので、本学における勉学に資する図書(概ね1,000円~30,000円)

【所蔵場所】 放送大学附属図書館 ※学習センター所蔵ではありません。

【申込方法】 放送大学附属図書館 OPAC または、栃木学習センター図書受付カウンターに申込書を提出

2025年度学生研修旅行のご案内

2025年度も学生研修旅行を開催することが決まりました。
時間や行き先の詳細については、7月中旬に栃木学習センターウェブサイトにて公開する予定です。

【開催日】 2025年9月6日(土)

【行先】 茨城方面

・見学先については、茨城県天心記念五浦美術館等を中心に、所要時間や天候等を考慮しながらその他の施設(公園、資料館等)を検討しています。

【対象者】 本学の学生 ※休学者を除く。栃木学習センター所属の学生優先。

【募集人数】 35名程度(先着順)

【参加費】 3,500円程度(見学料、昼食代、保険料含む)

※変動あり。バス料金等は放送大学教育振興会からの補助金による。

【申込方法】 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ・ 栃木学習センターのウェブサイトの申し込みフォームを送信する。
- ・ 事務室窓口で参加申込書を提出する。
- ・ 電話で申し込む。



【申込期間】 8月9日(土)～8月23日(土)

□閉所日の変更のお知らせ(予告)

栃木学習センターでは、閉所日2日制の導入に伴い、2026年4月(2026年度)から、従来までの月曜日に加え、以下を新たな閉所日とします。

- ① 4月～7月、10月～翌年の1月の期間は、火曜日
- ② 8月・9月、2月・3月は、日曜日

その他の閉所日は従来どおりです。

- ・ 祝日、年末年始(12/29～1/3)、臨時閉所日(学長または栃木学習センター所長が特に必要と判断した日。)

開所時間

・9:00～17:30(昼休時間 12:00-13:00)

※ 臨時閉所日や図書室閉室日などの詳細は、栃木学習センターウェブサイト「**センタースケジュール**」で最新情報をご確認ください。

2024年度修士論文・卒業研究発表会のご報告

3月15日(土)に、2024年度修士論文・卒業研究発表会を開催し、3名の方が発表を行いました。発表会には、客員教員の先生方、学生の皆さんの総勢19名が参加され、発表に真剣に耳を傾けました。発表後は活発な質疑応答が行われ、研究の進め方やWebでの指導、大学院入試の対策やアドバイスなど、大いに参考になったようです。

【卒業研究】作本 正治氏

「栃木県警察の公開情報によるわいせつ事案の環境要因と不審者情報の類型化とその特徴」



【卒業研究】大村 恵氏

「高次脳機能障害の当事者・家族のニーズと心理社会的支援
—当事者・家族を対象とした質的研究より—」



【修士論文】蓮實 憲太氏

「条例に基づく過料処分の実施と適正手続の保障に関する調査研究」



教務だより

2026年度卒業研究履修について

2026年度卒業研究の履修を希望または検討中の方で、6月7日(土)の「卒業研究履修ガイダンス」に参加されなかった方は、栃木学習センターまでご連絡ください。履修申請に必要な「卒業研究履修の手引き」、「卒業研究履修ガイダンス資料」を送付いたします。

【卒業研究履修申請書提出期間】 8月7日(木)～8月14日(木) Web申請 …17:00まで
郵送申請 …大学本部必着



2024年度第2学期卒業生からメッセージをお寄せいただきました

「自由な学びがくれた自信」

阿部 尚樹 ～自然と環境コース卒業～



私にとっての放送大学は、通信制ならではの自由な環境で、周りと比較することなく、自分のペースで学びを深められる特別な場所でした。その中でテストやレポートに取り組み、好きな分野を追求できた経験は、かけがえのない財産になりました。

一方で、自由だからこそ、自己管理能力が求められる場面もあります。モチベーションを保ったり、スケジュールを自分で管理したりするのは、時に難しいと感じることもありました。それでも、その困難を乗り越えて目標を達成した喜びは格別でした。自分の力でテストやレポートをやり遂げた経験は、学ぶ姿勢や計画力に対する大きな自信へと繋がりました。

放送大学で過ごした時間は、私の成長の支えになっています。本当にありがとうございました。

「憧れた大卒からの意外な展開」

粟野 幸子 ～心理と教育コース卒業～



国勢調査の記入時に最終学歴が高卒なのは、家族の中で私だけでした。

時代が平成から令和に変わるタイミングで何かしようと思い立ち、長年憧れていた「大卒」の肩書きを手にするため放送大学に入学しました。

学食が食べたい、学割の恩恵を受けたい、NHK ホールの卒業式に袴を着て出席したい、そんな志の低い名ばかりの大学生です。

平均点の高い科目を選び、3年目半ばにはゴールが見える楽勝の道を歩みました

しかしこのまま要領よく単位を取るだけでは何かが違うと、孫の誕生を機に保育士資格を取得しました。

なまぬるい思考を変えてくれたのは、面接授業での昼休みのおしゃべりです。

世代を超えて同じ学生同士、入学のきっかけや勉強方法、おすすめの授業など、お互い情報交換をしながらエールを送る貴重な時間が、私ももう少し頑張ろうという気持ちにさせてくれました。

無事に当初の目的の達成後は、残り5コースの制覇、各々二年の最短でという目標を立て、現在3コース目を継続しています。

「教養」が身につくまでにはまだまだ時間がかかりそうですが、「今日用」のある学生生活をこれからも楽しんで続けたいと思います。

「可能性を広げてくれた放送大学に感謝を込めて」

大村 恵 ～教育と心理コース卒業～



この度5年かけて心理と教育コースを卒業しました。お世話になった皆様に感謝申し上げます。

入学のきっかけは、ある人生に起きた困難に家族や私自身が心の危機を経験したことでした。何か糧を得なければとの思いで学び始めました。

放送大学で一番良かったことは、素晴らしい先生方から教わることが出来たことです。知識だけでなく生き方やものの考え方にも多大な影響を受けたと感じます。また、WEB 単位認定試験や附属図書館の自宅配送サービスなども、子育てと勉強を両立する上で非常に助かりました。

在学生の皆様には卒業研究の履修をおすすめしたいです。指導教授にご指導いただき、代え難い学びを得ることが出来ました。さらに、口頭試問や栃木学習センターの発表会では示唆に富む意見や指摘をいただき、大変貴重な機会を経験させていただきました。

The Open University はまさに可能性に開かれていると感じます。私は今、新たな目標を模索しながら放送大学大学院で選科履修生として学び続けています。

「放送大学の4年間」

金田 隆行 ～社会と産業コース卒業～



高校時代は歴史や文学に興味がありましたが、様々な事情で大学へは行けませんでした。好きなことを勉強したかったなあという思いを抱いていました。そんな矢先、たまたまラジオアプリで聞いた放送授業が非常に面白く、放送大学への入学を決めました。

文学と歴史を勉強したかったので、所属コースは人間と文化。歴史はせつ々くなので人類の誕生、地球、太陽系や宇宙の誕生まで遡り学びました。世界の歴史、文化、政治や国際関係にも興味が増え、気が付いたら様々な科目を取り、4年で卒業となりました。

卒業研究をやりたくなり、この春、社会と産業コースに再入学。放送大学は学びたいことはどこまでも幅広く学べる事が魅力です。国際関係などはまさに「今」の事を学べます。

栃木学習センターは宇都宮大学図書館と同じ建物も魅力です。他の大学図書館も、利用登録をすれば使えます。面接授業は栃木だけでなく、隣県の授業にも行っています。様々な出会いもあり、興味もどんどん広がっています。

いずれ大学院で修士論文にも挑戦しようとか、これまでは予想もできなかった自分になる事ができました。一度は卒業しましたが、今後もずっと大学生でいようと考えています。

「20年越しの夢をかなえて」

小林 美由紀 ～文化科学研究科臨床心理学プログラム修了～



私はこの度、放送大学大学院臨床心理学プログラム修士課程を修了いたしました。栃木学習センターの職員の皆様には、多大なるご支援をいただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

修士選科生として単位を取得し、約2年間の受験勉強を経て、幕張のセミナーハウスで臨床心理学プログラムの先生方と初めてお会いした際は、感無量の思いでした。働きながら修士全科生としての生活を送ることは覚悟しておりましたが、それは決して容易な道のりではありませんでした。特に、M2になると、毎月のオンラインによる研究指導と臨床心理実習が並行して進みます。何よりも心身の健康を保つことに留意しながら、修士論文を書き上げることを目標にしました。

時には不安がよぎることもありましたが、オンラインで遠方に住む同期と語り、励まし合うことで支えられました。そして、修了後も臨床心理学プログラムのつながりは深く、先生方や諸先輩方、同期の仲間と心理臨床家として学び続ける機会が設けられています。

私は公認心理師の資格を取得し、現在は教育領域の心理職として従事しております。今後は臨床心理士資格の取得を目指し、多くの人々が困難な日々の中でも心の内に希望を見出し、「自らの幸せ」を感じながら生きていく力を支えられる心理臨床家となれるよう、研鑽を積んでいく所存です。

「4年間を振り返って」

藤田 怜奈 ～心理と教育コース卒業～



私は公認心理師になることを目指して放送大学に入学しました。心理学を学ぶのは初めてだったので、内容の難しさに驚いたり、新しいことを学ぶ楽しさを感じたりしながら勉強しました。授業は放送授業が中心でしたが、面接授業では様々な方々と共に授業を受講し、刺激を受ける環境でした。

私は高校を卒業してすぐに入学しましたが、自宅で学べる授業形態のおかげで時間を有効活用でき、ベトナム語の学習という趣味を継続することができました。とは言っても、両方勉強するのは大変で、人にアドバイスできるほど心理学の勉強をしっかりとできていませんでしたが、今私がこうしておけばよかったと思うことはこまめに授業の要点を他の紙にまとめ直すことです。自分なりにまとめるとさらに理解が深まり、テスト前にも大事な所だけを見返すことができたなと思います。皆さんもそれぞれの勉強スタイルがあると思いますので、あくまで参考になれば幸いです。

「ゆったりと蛇行する」

古川 容子 ～心理と教育コース卒業～



知は去から未来へと一方向に流れてゆきます。ところが放送大学では、若い先生方から高齢の私たちに知が注がれており、直線の急流ではなく、大河のようにゆったりと蛇行していることが、ナイル川のように豊かな恵みをもたらしているように感じられました。

私が在学中に実感した恵みの一つは、学問と経験が結びつく「アハ体験」です。私は世界の真実に触れて得意になり、万能感に駆られて卒業研究を選択しました。しかし思考を言葉で表現するのはとても難しく、完成した論文は不十分なもので、私の万能感は打ち砕かれました。

この春、宇都宮大学大学院へ進学しました。卒業研究で知った限界は、自身の伸びしろと捉える事にしました。このポジティブ思考は、放送大学の先輩方に学んだものです。皆さんもゆったりと、ナイル川のように蛇行し、時に氾濫(?)しながら、知を蓄えてゆきましょう。

所長とランチのご報告

5月18日(日)、加藤所長と学生有志でランチ会(学生サークル「友の会」主催)を開催しました。総勢15名が参加。所長の自己紹介や学習センターの取り組み、参加者の入学の動機、勉強方法、学習センターへの要望などが話され、所長を囲み、和やかな雰囲気の中、全員で話題を共有することができました。

学生同士が直接接する機会が少ない放送大学ですが、栃木学習センターではこのような会が定期的に行われています。

次回の所長とランチも日程が決まり次第、「とちの実」や栃木学習センターウェブサイトでお知らせします。皆さんお気軽にご参加ください。



キャンパスカレンダー

■…閉所日 □…面接授業 □…試験

○…特別ゼミ ★…行事

※変更になる場合があります。

7月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

7月の予定

- 5・6日 面接授業「雑草の暮らしを科学する」
面接授業「社会的つながりとケア」
- 16～24日 単位認定試験実施期間

8月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月の予定

- 1日 夏季集中(司書教諭)通信指導提出期間(～19日)
- 7日 2026年度卒業研究履修申請(～14日)
- 15日 2026年度大学院全科生出願受付期間(～25日)
2025年度第2学期科目登録申請期間(郵送)(～28日)
2025年度第2学期科目登録申請期間(Web)(～29日)
- 23日 特別ゼミ「香りの化学」(1日目)
特別ゼミ「人間の一生と〈性〉を考える」(1日目)
- 24日 特別ゼミ「香りの化学」(2日目)
- 30日 2025年度第2学期出願受付開始(第2回)(～9月11日)
特別ゼミ「人間の一生と〈性〉を考える」(2日目)
- 31日 特別ゼミ「市民が伝える戦争の記憶と体験」

9月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9月の予定

- 6日 学生研修旅行
- 13日 特別ゼミ「パソコンOSの裏側をしてみる」
- 20日 公開講演会「環境問題から考える戦争と平和」
特別ゼミ「日本語の文法について考える」
- 21日 特別ゼミ「特別支援教育と共生社会－教育的係わり合いからの検討－」
- 22日 夏季集中(司書教諭)単位認定試験提出期間
(～10月6日)
- 27日 特別ゼミ「切削加工のメカニズム」
- 28日 2025年度第1学期「学位記授与式」
2025年度第2学期「入学者の集い」

学習相談日(7月～9月)

主に土曜日(13:00～17:00)に学習相談日を設けています。ご希望の方は「学習相談申込書」にご記入のうえ、事前に事務室までお申し込みください。

※専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりも広い分野の学習相談にも応じていただくことができます。

※先生の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

教員名／現職	専門分野	相談日		
良 香織 宇都宮大学准教授	教育学・保健学	7/5	8/9	9/6
岡澤 慎一 宇都宮大学教授	特別支援教育	7/5	8/2	9/6
佐々木 一隆 宇都宮大学名誉教授	英語学 言語学	7/12	8/9	9/13
佐藤 隆之介 宇都宮大学准教授	機械工学 生産工学・加工学	7/5	8/2	9/6
清水 奈名子 宇都宮大学教授	国際関係論	7/5	8/30	9/13
下郷 大輔 作新学院大学講師	犯罪心理学 家族心理学	7/19	8/30	9/20
二瓶 賢一 宇都宮大学教授	天然物有機化学	7/19	8/30	9/27
横田 隆史 宇都宮大学教授	計算機工学	7/5	8/2	9/6
加藤 謙一 栃木学習センター所長	体育学, 発育発達	随時対応		

放送大学栃木学習センター

〒321-0943 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス内)

TEL:028-632-0572 FAX:028-632-0570 E-mail:tochigi-sc@ouj.ac.jp

HP: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【開所時間】 9:00～17:30 (窓口・電話対応は9:00～12:00・13:00～17:30)

【閉所日】 月曜・祝日休

「とちの実 第137号」は6月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。
次号は10月号発行予定です。(「とちの実」は年4回発行)